

学校だより



市川市立平田小学校

いなほ  
稲穂

学校教育目標  
夢をもち、たくましく生きる  
子どもの育成

No.22

R6年1月24日

～共に学ぶ 共に育つ 共に感動する 共に未来を創る～

校長 蜂須賀 久幸



約半年間を振り返り、残り2か月をどう取り組むか考える

12月に実施した学校評価（保護者アンケート）にご協力いただきありがとうございました。力及ばないこと、なかなか成果が見えにくいことなどあります。それでも目の前の子供たちの現在と未来に目を向けて取り組んでいます。『共に学ぶ、共に育つ、共に感動する、共に未来を創る』の合言葉の下、ご協力ください。ご意見は追って紹介！



令和5年度 学校評価保護者アンケート（7～12月）				回答率60.3% 《家庭数では73.5%》		
		評価項目	肯定的 回答割合	R5年 6月	R4年 12月	R4年 6月
確かな学力	1	お子さんは、授業がわかりやすいと言っている。	81.1%	82%	84%	84%
	2	お子さんは、わからないことを自分から調べるなど、いろいろなことに興味を持って学習に取り組んでいる。	62.9%	63%	66%	63%
	3	お子さんは、家庭学習の習慣が身についている。	68.7%	70%	69%	72%
豊かな心	1	お子さんは、友だちや近所の人などに、自分から進んであいさつをしている。	68.7%	72%	76%	75%
	2	お子さんは、自分の役割に責任を持って取り組んでいる。	85.1%	82%	84%	82%
	3	お子さんは、誰とでも優しく関わっている。	91.6%	92%	94%	92%
	4	お子さんは進んで読書活動に親しんでいる。	59.3%	59%	61%	61%
	5	お子さんの自己肯定感（自己有用感・自信）が高まっていると感じる。	73.1%	71%	—	—
健やかな体	1	お子さんは、すすんで（外で遊ぶなど）体を動かしている。	▼65.1%	74%	69%	72%
	2	お子さんは、自らの安全（交通事故・けがなど）に気を付けて生活をしている。	88.7%	86%	88%	88%
	3	お子さんは、規則正しい生活習慣（睡眠・食習慣など）が身についている。	▼74.2%	80%	77%	79%
信頼される学校	1	学校は、目指す子どもの姿や学校経営方針について、保護者に理解されるよう努めている。	86.2%	88%	90%	88%
	2	学校は、保護者や地域の方々とともに、子どもを育てる取組を進めている。	82.9%	87%	88%	86%
	3	学校は、保護者の思いや願いに対して適切に対応している。	82.9%	86%	88%	84%
	4	学校は、特色ある取組や教育を進めている。	▼71.3%	80%	82%	73%
	5	学校は、子ども一人一人に適切な指導や支援を行っている。	74.5%	79%	83%	79%
	6	おたよりやメール、学校ホームページによる情報提供は適切に行われている。	88.7%	93%	98%	92%
	7	学校は、道徳教育や特別支援教育あるいは配慮を要する児童への支援に関して丁寧に取り組んでいる。	86.5%	85%	84%	81%
	8	学校は、児童とともに清掃活動や環境美化を大事にした学校づくりに努めている。	▼82.9%	92%	—	—

## 汎用的な思考力が、学びをおもしろくする



小学校の算数とバカにすること勿れ！大人でも落とし穴にはまって、意外とできない場合も…。

5年生の算数で「速さ」や「平均」について学びますが、これらは日常生活でも様々な場面で登場します。ですから、その考え方は知っていても、実は正確に理解できていないこともあります。そこで、「平均の速さ」を求める問題で考えてみましょう。高学年ならできる問題ですので、ぜひ一度チャレンジしてみてください。

平田翔くんは、自動車でA地点とB地点を往復しました。行きは渋滞もあって時速40kmで進んだ計算になりました。帰りは比較的空いていたので時速60kmでした。  
往復の平均の速さを求めなさい。

多くの人が陥りがちな間違いは、 $(40 + 60) \div 2 = 50$ と考えて時速50kmと解答するパターンです。速さとはどういう性質のものだったかを考えるとわかりやすいかもしれません。速さという考え方は、1時間や1分あたり平均してどれだけ進んだかを求めているわけで、混み具合や人口密度から始まる「単位量あたりの大きさ」という単元で学びます。

ここでは、「時速40kmで進みました」とありますが、必ずしも一定速度で走ったわけではなく、どれだけ時間にどれだけ進んだかをもって速さを計算します。つまり、往復するのにかかった時間とトータルの走行距離から導き出さなければなりません。この問題では、AとBの距離は示されていませんから、計算しやすい120kmであったと仮定してみることにします。

行きは、120kmの道のりを時速40km、帰りは同じ距離を時速60kmで進んだのですから、往復した道のりは $120\text{km} \times 2 = 240\text{km}$ であることは低学年でもわかります。続いてかかった時間を求めましょう。

行きにかかった時間は、 $120\text{km} \div \text{時速}40\text{km} = 3\text{時間}$ 、となります。

一方、帰りはというと、 $120\text{km} \div \text{時速}60\text{km} = 2\text{時間}$ 、です。よって、往復にかかった時間は5時間であることがわかります。したがって、往復では240kmの道のりを5時間かけて進んだこととなりますから、その速さは、 $240\text{km} \div 5\text{時間} = \text{時速}48\text{km}$ となるわけです。

公式の丸暗記ではなく、「速さ」や「平均」の概念を使って導き出すことが大事であり、学びの本質です。こうした汎用的な思考力を身につけることで、算数だけでなく、勉強が面白くなるような気がします。

## 頑張る子供たち Part 2

### 【京葉ガス絵画コンクール】

佳作 N. M① Y. S①  
M. T⑤  
準佳作 K. T② S. M④  
K. N④

### 【メトロ児童絵画展】

佳作 Y. S②

### 【夏休みエコ絵画コンクール】

入選 A. Y⑤

### 【ユネスコ絵画展】

優秀賞 K. A④

### 【わんぱくセミナー】

修了 U. S⑤

ちよつと遅れたけど…

なぞなぞ！「歯が痛くて困っているのに、毎日眼科に通っています。なぜかな？」答えは右にあるよ。



## 2月

- 2日(金) 学校徴収金引落日
- 5日(月) 平田っ子生活習慣チェック(～2/11)
- 6日(火) 八中訪問・参観⑥
- 7日(水) クラブ活動、SC相談日
- 8日(木) 入学説明会 10:30～、たんぼぼ学級懇談会
- 14日(水) 定例研、4校時日課 13:10 下校
- 15日(木) 全校5校時日課 14:30 下校、式典準備
- 16日(金) 70周年記念式典(8:00 登校 14:30 下校)  
学校運営協議会
- 17日(土) 資源回収日、稲穂会 70周年祝賀会
- 19日(月) 縄跳び週間(～2/29)
- 20日(火) 芸術鑑賞会、SC相談日
- 21日(水) 1～6年学級懇談会
- 22日(木) 4くみ学級懇談会
- 26日(月) 4校時日課 13:30 下校(～3/1)